

大保木土曜教室【西条市】

大保木で里山の生活体験教室

◆活動の目的・理念 過疎に負けない村づくり

- 地域の環境を生かした体験活動の充実
- 地域住民との交流
- 地域活性化に貢献する

活動場所	大保木公民館他		対象学区区名	西条市内全域の高校・小学生		子どもの平均参加人数	11 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	5 日	10 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ 日数	9 日	土曜教育支援員 のべ人数	24 人
	日・休業日等	4 日	9 : 00 ~ 15 : 00				
土曜教育サポーターのべ人数	13 人	地域住民・出身者		ボランティア のべ人数	54 人	大学生、婦人会員、愛護班員、 老人クラブ、保護者	
参加者募集	各高校を訪問してチラシを配布 行事はその都度募集		連携・協力 機関・団体	公民館・地域住民・石鎚ふれあいの里・自治会・健康づくり推進員他			

取組の概要

<主な取組内容> 山の体験プログラム 9回実施しました。

- お茶摘み体験
大保木銘茶を自分の手で摘んで、干してお茶ができるまでの工程を学びました。
- 蓬でおやつ作り
春に山で摘んだ蓬を使って蓬蒸しパンを作りました。
- お山のマルシェ
「山の日」に野外で販売体験をしました。河原でそうめん流しの手伝いをしました。
- 敬老会のお手伝い
地域の敬老者に感謝のお手紙と歌のプレゼントをしました。
- 運動会の手伝い
競技の進行をして地域を盛り上げました。
- 「山仕事体験」
炭焼きに使う、薪割りをしたり、炭焼きの手伝いをしました。
- 竹取り物語
大保木山の竹を伐採して器や箸作りをしました。
- 竹ご飯を作ってみよう
竹でご飯を炊いて地域の人と触れ合いました。
- かずら細工教室
山の蔓かずらを編んでかごづくりをしました。



(山仕事体験)
山の文化や自然の魅力を伝えたい...



(竹筒でご飯をたいてみよう!!)
薪で火をおこし竹筒でご飯を炊きました
竹の香りがしておいしいご飯が炊けました



児童・生徒の感想

- ・ はじめて体験することばかりで楽しかったです。
- ・ 地域の方と交流する中で、大保木が大好きになり、もっと深く山の生活を学びたいと思うようになりました。
- ・ 山の人が温かく、いつも優しく受け入れてくれて嬉しいです。

<特色ある取組>

●山仕事体験

大保木の自然を感じ、山の生活に触れ地域の人々との交流を通して、山の魅力と生活を学ぶ。



(クリスマス!
土曜教育バンザイ!!)



(教室の後、地域の方と触れ合い
ながらの食事が楽しみの一つです。)

事業を実施して

【成果】

- 山が元気になりました。
- 地域住民が改めて、地元の歴史を学ぶきっかけになりました。
- 高校生が大保木に関心を持ち、楽しい、また行きたいと思うようになった。
- 高校の先生が積極的に事業に協力してくれるようになった。(事業の周知や生徒のとりまとめ)

【課題】

- 事業内容の周知方法
- 高校生のニーズと開催期間
- 講師やスタッフの協力体制の構築と人材発掘
- 持続可能な活動内容の企画